

沈黙の50年 上映会

上映会后、三二講演あり（裏面参照）



2025年

1月11日（土）

13:30～16:10

（開場 13:00）

参加協力券

大人 1,000円（当日 1,500円）

小人（小学生まで）、なかま 500円（当日 800円）

前売り券が完売した場合、当日券はありません。 ※ 収益は、京阪施設建設募金に役立てられます。

会

場

吹田市立メイシアター 阪急千里線吹田駅前

〒564-0041 大阪府吹田市泉町2丁目29番1号

※ 公共交通機関でお越しください。

あらすじ

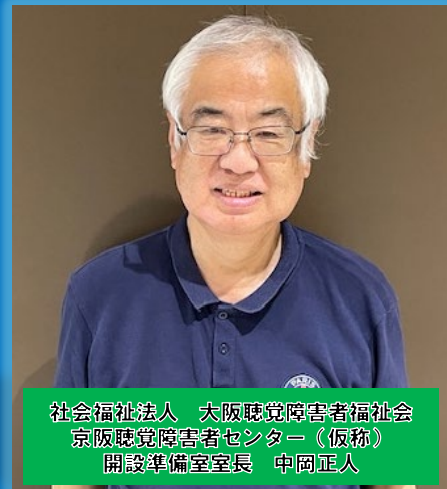
「元の身体に返して、二人の赤ちゃんを返して」と訴え続けて亡くなった喜美子さん、木工職人の寶二さん。いじめと暴力に耐えてきた沈黙の幾歳月。ろうあ連盟の被害者調査をきっかけに、仲間の励ましに「差別のない社会を」と提訴を決断された小林さん夫婦。その凄絶な人生をたどります。そして各地で沈黙を破って自分を語り始めた被害者の証言、共に歩む仲間の訴えを紹介します。

《当日のスケジュール》

- 13:00～13:30 受付
- 13:00～ 主催者挨拶
- 13:10～14:20 「沈黙の50年」上映
- 14:40～15:10 優生保護法について
- 15:20～15:50 京阪聴覚障害者センター開設を控えて



さつき福祉会 理事長
きょうされん全国理事
吹田市障がい者の働く場事業団
役務部門長 鴨井 健二



社会福祉法人 大阪聴覚障害者福祉会
京阪聴覚障害者センター（仮称）
開設準備室室長 中岡 正人

谷監督コメント

この度は北摂地域での『沈黙の50年』上映会の企画をして下さって、ありがとうございます。今年7月3日、最高裁判所大法廷でようやく旧優生保護法の違憲が認められました。そして、やっと国から被害者の皆さんに直接の謝罪が行われました。現在は被害者やそのパートナーに対しての補償が検討されていますが、被害者の多くは高齢なので迅速な対応が求められます。一方で当時は両親や学校の先生、就職先の社長が不妊手術を強いた例も多くあり、今も身内の問題だとして話せずにいる被害者もあると思われます。また結婚前や就職前の健康診断と騙されたり、盲腸の手術と嘘をつかれて手術された事例もあり、いまだに自分が強制不妊手術をされたと気付いていない人もいると思われます。今年5月の神戸での上映会では観終わった高齢ろう女性が「私も同じ経験をした」と話して下さる方がいらっしました。テレビや新聞報道などでは分かりにくい内容も手話だと伝わりやすいのだと実感しました。この映画『沈黙の50年』は被害者のインタビュー動画と再現ドラマなどを手話と字幕でも伝えています。映画を観て、同じような経験をされた方があれば、長い沈黙から解放されて欲しいと思います。あなたの話を聴かせてください。



主催：北摂三団体
北摂地区聴力障害者協会、北摂手話サークル連絡会、
大阪手話通訳問題研究会北摂ブロック